

東北震災から4年半。

長く険しい復興への道を歩んでこられ、

9月5日の全町避難指示解除、

そして本日「おかげ荘リニョーアルフェスタ」の開催を
迎えられましたこと、誠におめでとつございます。

町民の皆様を始め、松本町長様、関係者皆様のご尽力は、
大変なものであったと思います。

心よりお祝い申し上げます。

ご存じのように、新潟県 小千谷は中越地震の被災地です。

来月震災から11.年目を迎える私たちの町も、

日々の生活は、復興がなされたと言われております。

しかし、物質的な復興だけでは前には進めません。

松本町長様にお会いしたとき、

震災から復興をとげた、新潟 小千谷の錦鯉をぜひ檜葉町へと
お声をかけて頂き、このたび実現いたしました。

私たち小千谷の錦鯉産業は、中越地震で打撃を受けた中でも、
最も、再生が困難とされたもののひとつでした。

代々受け継がれてきた、親鯉の死亡 池 榑田の崩落。

中には全村避難で、ふるさとを失った方もいらつしやいます。人はよりどころを求めます。

錦鯉は、私たちの町の復興のシンボルとなり、優雅な錦鯉をまた復活させたいという市民の要望、生産者の方々、行政のバックアップにより、ようやく活気を取り戻しています。

本日、こちらの公園で、優雅に泳いでいる錦鯉は、震災を生き延び、小千谷を復興に導いてくれた錦鯉の子孫です。私たちが復興へ向けての癒しになったように、この錦鯉が、榎葉町のみなさんに元氣と笑顔を届けますように切に願います。

松本町長様が

錦鯉を迎えにおいで下さったとき

全町 避難 指示 解除 はゴールではなく、スタートです」
と力強く仰っていました。

町民の皆様が一丸となって行っ

笑顔のあふれる、人々の心がつながる、

すばらしい榎葉町の復興を

心よりお祈りいたしましたして、私のご挨拶とさせていただきます。

本日は、本当におめでとうございました。